

大和の子 ~積み重ね つみ重ねても またつみかさね~

令和7年9月16日 No. 12 文責：校長 河野 太郎

たてわりあいさつ運動



2学期がスタートして2週間。夏休みのゆったりとしたリズムから学校生活への切り替えもでき、子どもたちはそれぞれの学習に取り組んでいるところです。

そんな中、児童会の取組の一つとして「縦割りあいさつ運動」が毎朝行われています。この活動は、担当の縦割り班のメンバーが玄関前や廊下などに分かれて立ち、登校してくる子どもたちにあいさつをする活動です。1年生から6年生までが一緒に取り組むので、お互いに励みになりますし上級生が下級生に声をかけることもでき、なかなか良い取り組みの一つです。活動が終わると職員室の前に集まり、「よかったこと」「直した方がいいところ」をみんなで出し合います。出された内容を、代表児童が給食時に放送しています。この振り返りがとてもよいと思います。全校であいさつを盛り上げていこうという気持ちになります。まだまだ活動は続きますが、子どもたちが自然にあいさつできるようになるとよいと思います。

代表委員任命式

9月4日（木）に、2学期の代表委員任命式を行いました。

「代表委員」は3年生以上の各クラスの代表で、児童会が主催する「代表委員会」に参加し、クラスに情報を伝えたり、クラスの意見を全校に伝えたりする重要な役割を担います。本校の多くのクラスで、毎学期スタート時に新しい役員をきめることが多いようです。児童会活動の中には「総会」もあり、年に2回3年生以上の児童が一堂に会し、1年間の計画を立てたり、活動を振り返ったりしていますが、何回も集まることが出来ないので、途中の話し合いは代表委員会がメインになります。この2学期も、ドレミファ発表会のことなど重要な内容がたくさんあります。是非クラスの代表として責任を果たしてほしいと思いますし、各クラスで協力していってほしいです。



PTA親子早朝作業

9月6日（土）、5・6年生の児童と保護者、OBの皆様、そして本校職員で親子早朝作業を行いました。前日までの雨から暑いくらいの晴天となりましたが、参加者のみなさまが一生懸命作業してくださっ

たおかげで、しっかりと環境整備を行うことができました。



今回の作業は、「大和川沿い土手の除草作業」「校庭北側の側溝の泥揚げ」、「学校農園の除草作業」です。

大和川沿いの除草作業は、曲輪田橋から大和川橋までの間の法面の除草です。6月末にもボランティアを募集して除草作業を行いました。夏の間でまた少しのびてしまっています。特に、歩道の方へ出てしまっている草については、子どもたちの登下校の邪魔になるので、除草作業がどうしても必要になります。

校庭の北側側溝の泥揚げについても、雨で流された泥がたまっています。泥がたまると排水がうまくできないので、また水が溢れてくるということで、西から東まで溝蓋をあげながら作業を進めていただきました。一輪車に10杯以上の泥があげられました。

農園の除草作業も大事です。今はヘチマやインゲン豆などの作物が植えてありますが、夏の間、草も多くなっていました。機械ではできない作物の間も、手作業で除草していただき、農園もさっぱりしました。

短時間ではありましたが、参加していただいた方々のおかげで、子どもたちも気持ちのよい環境で学習を進めることができると思います。本当にありがとうございました。

修学旅行に向けて

6年生は10月1日（水）～3日（金）まで、修学旅行に出かけることになっています。今は、まさにその準備の真っ最中です。今回の修学旅行も「鎌倉」に行きますので、その歴史と地理的な内容について、社会科を中心に1学期から学習を進めてきました。その学習の中で、鎌倉時代には源頼朝と山梨の関係についても明らかになってきました。



9月8日（月）には、甲斐源氏のルーツを訪ねるため、若草にある「法善寺」や甲西の「古長禅寺」、「椿城址」などを見学してきました。加賀美遠光公や小笠原長清公といった、鎌倉とゆかりのある人々について学びながら、その史跡を回る見学でした。若草、櫛形、甲西の3地区には、鎌倉とのかかわりを示す史跡が多く残っています。この日は、市教育委員会文化財課の保阪太一 様に同行していただき、各史跡の特徴や歴史について話していただきました。

事前学習を通して、鎌倉と南アルプスとの関係を感じながら、修学旅行に向かうことが出来ればよいと思います。

秋の交通安全運動

9月8日（月）～12日（金）まで、PTA生活補導部の皆様を中心に、秋の交通安全運動に伴い、各地区の危険箇所に登校指導として立っていただきました。子どもたちも学校生活に慣れ、登校の様子を見ても、道いっぱい広がってしまったり、左右をよく見ないで渡ってしまったりすることもあるようです。学校でも引き続き指導をしていきますが、ご家庭でも是非声かけをお願いします。